



母子愛育だより

平成30年4月号

子どものことばを上手に育てる ～ことばのタネを見つけよう～

うちの子、ことばが遅いんだけど・・・、と悩んでいたり、子育てがなかなかうまくいかない、と困ったりしていませんか？

赤ちゃんはかわいいけれど、少しずつ自分の意志が芽生えてくると、なかなか言うことをきいてくれない、とちょっと手を焼くこともあるかもしれません。

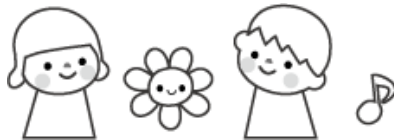


**ことばを育てるのは、ことば「だけ」ではありません。
「こころ」も「からだ」も大事なんです。**

赤ちゃんのことばは、びっくりしたり、嬉しかったりといった「こころ」に響く経験や、それを誰かに伝えたい、という「気持ち」が上手に受け止められると、すくすく育っていきます。もちろん、からだをしっかりと動かしたり、手や足をつかうことも脳を育てる大切な経験です。赤ちゃんの育ちに合わせた「ことば」をはぐくむ遊び方に、ぜひトライしてみてください。

首すわりの頃・・・たて抱っこ

首が座るようになったら、姿勢を変えて、たて抱っこします。赤ちゃんが安心する落ち着いた声で優しく話しかけてあげましょう。



お座りの頃・・・はい、どうぞ

座れるようになると、視野が広がります。ものを渡すなど手と眼を使って一緒に遊びましょう。声をかけながら、物を渡したり、受け取ったりしてあげましょう。



はいはいの頃・・・飛行機ぶーん

手や足が少しずつ動かせるようになってきたら、からだを使った遊び方にもチャレンジ。仰向けに寝て、膝の上に赤ちゃんを乗せて「ぶーん」と両手を広げて飛ばせます。

※怖がらせないように、安全に注意して行いましょう。



歩きはじめの頃・・・かくれんぼ

そろそろ、身近な人との交流が楽しめるようになります。手で顔を隠してから「〇〇ちゃん、いないなあ～」と探すふりをします。または、「いない……いない……ばあ」などもおすすめです。



坂出市母子愛育連合会